



モルモン書—— わたしたちの宗教のかなめ石

「わたしは兄弟たちに言った。モルモン書はこの世で最も正確な書物であり、わたしたちの宗教のかなめ石である。」

ジョセフ・スミスの生涯から

ジョセフ・スミスがどの教会に加わるべきかを知るために祈った1820年の朝から、3年以上の歳月がたっていた。若き預言者は17歳になっており、神の前における自分の立場を知り、また赦しを受けたいと望んでいた。1823年9月21日の夜、ジョセフはニューヨーク州パルマイラにあった、家族が住む丸太造りの家の屋根裏の寝室で床に就いた。しかし部屋にいたほかの兄弟たちが眠った後も目を覚ましていて、自分に対する神の御心をもっと知ろうとして真剣に祈った。ジョセフは次のように語っている。「わたしはその夜、床に就いた後、全能の神に、わたしのすべての罪と愚かな行いを赦してくださいるように、また神の前における自分の状態と立場を知るために示しを下さるよう、祈って嘆願した。以前に受けたように、神の示しを頂けるという十分な確信があったからである。」（ジョセフ・スミス—歴史1：29）

祈りの答えとして、ジョセフは室内に光が現れるのを見た。その光は明るさを増していき、ついに部屋は「真昼の時よりも明るく」なった。そしてベッドの傍らに「この上なく美しい白さ」の衣を着た一人の天の使者が現れ、空中に立った（ジョセフ・スミス—歴史1：30－31）。この使者は、ニーファイ人の最後の預言者であるモロナイであった。モロナイはモルモン書が書き記された版を幾世紀も前に埋めており、この神聖な記録に関する鍵を持っていた（教義と聖約27：5参照）。モロナイは、神がジョセフの罪を赦し、彼のなすべき業を備えておられることを告げるために遣わされたのであった。この業の一部として、ジョセフは近くの丘に行くように求められた。そこには金版



1827年9月22日、ジョセフ・スミスはモロナイから金版を受け取った。預言者は次のように証^{あかし}している。「わたしは版を……それからウリムとトンミムとともに手に入れ、そのウリムとトンミムによって版を翻訳しました。こうしてモルモン書が出されたのです。」

に書き記された神聖な記録が隠されていた。この記録は、昔アメリカ大陸に住んでいた預言者たちによって書き記されたものであった。そして神の賜物^{たまもの}と力によって、ジョセフはその記録を翻訳して世にもたらすことになっていた。

翌日、ジョセフはモルモン書の版が埋められている丘に行った。その場所でジョセフはモロナイと会い、版を見たが、4年間はそれらを受け取ることはないと言われた。モルモン書の翻訳という神聖な務めに携わるのにふさわしくなるために、重要な準備の期間が始まることになっていたのである。ジョセフはそれから4年間、毎年9月22日にその丘に行き、モロナイからさらなる指示を受けた（ジョセフ・スミス—歴史1：33-54参照）。この間、ジョセフはまた「神の天使たちの訪れを幾度も受け、終わりの時に起こるべき尊厳と栄光に満ちた出来事を明らかに」された。²

またこの準備の期間に、預言者の人生に結婚という祝福がもたらされた。1827年1月、ジョセフはペンシルベニア州ハーモニーで働いていたときに出会ったエマ・ヘイルと結婚した。エマは預言者の務めの期間を通じて彼の大切な助け手となった。1827年9月22日、エマはジョセフとともに丘に行き、モロナイが版を預言者の手に渡している間、近くで待っていた。

神聖な記録を手に入れたジョセフは、なぜモロナイが版を守るように警告したのかをすぐに理解した（ジョセフ・スミス—歴史1：59-60参照）。地域の暴徒が幾度も版を盗もうとし、預言者を悩まし始めたのだ。1827年12月のある寒い日、穏やかに仕事ができる場所を見いだすために、ジョセフとエマはスミス家の家を離れて、ハーモニーに住むエマの両親のところに避け所を求めた。その地で、預言者は翻訳の仕事に着手した。翌年の2月、パルマイラに住むスミス家の友人であるマーティン・ハリスが、ハーモニーに行って預言者を手伝うようにとの靈感を受けた。マーティンを筆記者として、ジョセフは神聖な記録の翻訳を進めた。

預言者ジョセフが翻訳したものは、後にモルモン書として出版されることになる。完全な福音が載っているこの驚くべき書物は、末日聖徒イエス・キリスト教会が真実であり、ジョセフ・スミスが預言者としての使命を帯びていたことについての^{あかし}証となっている。

ジョセフ・スミスの教え

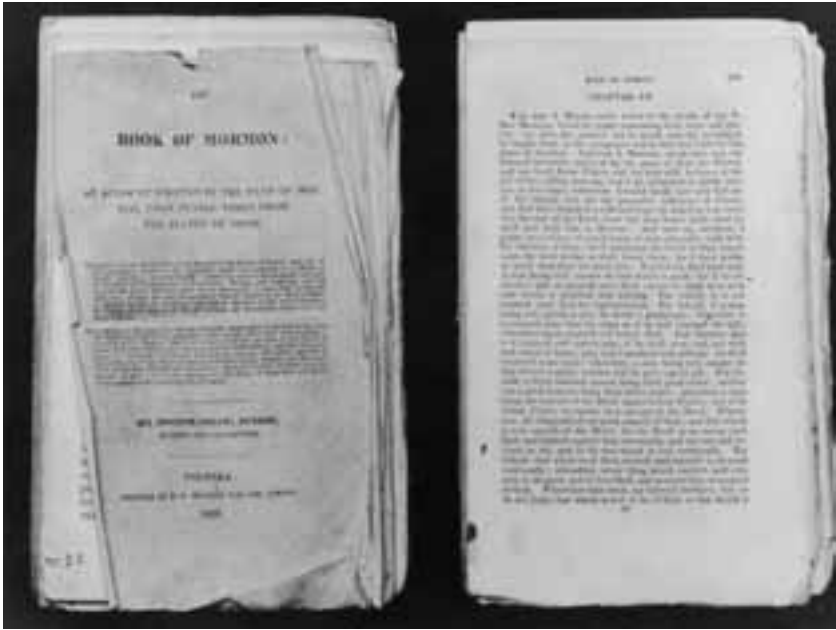
モルモン書は神の賜物たまものと力によって翻訳された

「モルモン書をどのように、また、どこで手に入れたのですか」との質問に、ジョセフ・スミスは次のように答えている。「ニューヨーク州オンタリオ郡マンチェスターのある丘に版を隠したモロナイが、死者の中からよみがえり、わたしに現れ、その版のある場所をわたしに告げ、そしてそれを手に入れる方法についてわたしに指示を与えました。わたしは版を手に入れ、それからウリムとトンミムも手に入れ、そのウリムとトンミムによって版を翻訳しました。こうしてモルモン書が出されたのです。」³

「わたしは、この大陸に住んでいた昔の預言者たちの記録を短くまとめたものが刻まれている幾つかの版が隠されている場所〔をモロナイから告げられ〕ました。……これらの記録は、金のように見える版に刻まれていました。またそれぞれの版は横6インチ（15センチ）、縦8インチ（20センチ）で、普通のブリキほど厚くはありませんでした。版にはエジプトの文字がいっぱい刻んであり、すべてに3つの輪が通されていて、本のページのように1冊にとじられていました。全体で厚さは6インチ（15センチ）近くあり、一部が封じられていました。封じられていない部分の文字は小さく、きれいに刻まれていました。また全体にわたって、その作りの古さを示す多くのしるしが見られ、彫刻の技術は見事でした。また記録とともに、昔の人々が『ウリムとトンミム』と呼んだ珍しい道具も見つけました。それはつるの縁にはめられた二つの透明な石から成っていて、そのつるは胸当てに付けてありました。わたしはウリムとトンミムの仲立ちにより、神の賜物と力によって記録を翻訳しました。」⁴

「神の力によって、わたしは象形文字からモルモン書を翻訳しました。わたしは、世から失われた知識を翻訳していたのです。そのすばらしい出来事の中で、無学な若者であるわたしはたった独りで立ち、この新たな啓示を携えて、この世の知恵と、そして18世紀もの間蓄積された無知と闘ったのです。」⁵

「わたしはここで述べておきたいのですが、モルモン書のタイトルページは、本のようにとじられたあの版の、最後の1枚の左側にあった文章を一語一語そのまま翻訳したものです。その版にはこれまで翻訳されてきたこの記録が載せてあって、版の上の文字は全体を通じて



左、モルモン書の初版のタイトルページ。

ヘブル語で書くときと同じ方向〔つまり、右から左〕に書かれていました。そして、このタイトルページは、現代に書かれたものでは決してなく、わたしが書いたのでも、この時代にこれまでに生きた、あるいは今生きているだれかが書いたものでもありません。……わたしは以下に、モルモン書の英語版のタイトルページのその部分を記します。これはあの版に記録されていたとおりの、モルモン書の原書のタイトルページからそのまま逐語訳したものです。

『モルモン書

モルモンがニーファイの版から取って自分の手で別の版に
書き記した記録

したがってこれは、ニーファイの民とレーマン人についての記録を短くまとめたものである。——イスラエルの家の残りの者であるレーマン人、ならびにユダヤ人と異邦人にあてて書き記されたもの——戒めにより、また預言と啓示の霊により書き記されたもの——書き記され、封じられ、主に託して隠され、損なわれることのないようにされたもの——神の賜物と力によりもたらされ、翻訳されるもの——定められたときに異邦人によって伝わるように、モロナイの手により封じ

られ、主に託して隠されたもの——また、神の賜物により翻訳されるものである。

これには、エテル書から取って短くまとめたものも含まれている。エテル書はヤレドの民の記録であり、ヤレドの民は主が民の言語を乱されたとき、すなわち民が天に達しようとする一つの塔を建てていたときに散らされた人々である。——これはイスラエルの家の残りの者に、主が彼らの先祖のためにどのような偉大なことを行われたかを示すものであり、また、彼らはとこしえに捨てられないという主の聖約を、彼らに分かるように示すものである。——また、ユダヤ人と異邦人に、イエスがキリストであり、永遠の神であり、すべての国民に御自身を現されることを確信させるものである。——ところで、もし誤りがあるとすれば、それは人の犯した間違いである。したがって、キリストの裁きの座で染みがないと認められるために、神にかかわるものを非難しないようにしなさい。』⁶

主の知恵は悪魔の狡^{こうかつ}猾さに勝っている

1828年6月14日までに、ジョセフ・スミスはモルモン書の版からの翻訳で116ページの原稿を仕上げていた。そのとき、この神聖な記録を世に出すに当たっての神の導きの手について、預言者に大きな教訓を与える一つの事件が起きた。預言者は次のように記している。「ハリス氏は筆者となってしばらくすると、原稿を家に持ち帰って家族に見せるのを許可してほしいとしきりに求めるようになりました。そして持ち帰ってもよいかを、ウリムとトンミムを通して主に尋ねてほしいと頼んできました。そこでわたしが尋ねると、そうしてはならないという答えでした。しかし、ハリス氏はこの答えに満足せず、もう一度尋ねてほしいと願いました。わたしはそのようにしましたが、答えは以前と同じでした。それでもなお彼は満足できず、もう一度尋ねるように強く求めました。

大いに懇願された末、わたしが再び主に尋ねると、特定の条件の下で原稿を持ち出してもよいという許可が与えられました。その条件とは、ハリス氏が原稿を見せてよいのは、彼の兄弟であるプリザーブド・ハリスと、彼自身の妻と、両親と、妻の姉妹であるコブ夫人に限られるというものでした。この最後の答えに従って、わたしはハリス氏に、指示されたことのほかには行わないことを、この上なく厳粛な形で誓約によってわたしに誓うように求めました。彼はそのようにしま

した。ハリス氏はわたしが求めたように誓い、原稿を持って出て行きました。ところが、大きな制限が課せられていたにもかかわらず、またわたしと厳粛な誓約を交わしていたにもかかわらず、ハリス氏はほかの人々にも原稿を見せ、策略によって彼らはハリス氏から原稿を奪い、それらは今日に至るまで取り戻されていないのです。』⁷

モルモン書の初版のはしがきの中で、預言者は116ページが失われたことによって神の目的がくじかれることはないと言っている。「〔モルモン書〕に関して多くの偽りの報告が広められており、また邪悪な腹黒い人々によってわたしを滅ぼし、業を損なおうとする多くの不法な手段が講じられていることから、わたしは次のことをお伝えする。わたしは神の賜物たまものと力によって、リーハイ書から116ページを翻訳し、書き取らせた。それはモルモンの手によってリーハイの版から短くまとめられた記録であった。この記録は、ある一人または複数の人物によって盗まれ、それを取り戻そうとするわたしの最大限の努力にもかかわらず、なおわたしから隠されている。——そして主はわたしに、同じ記録をもう一度翻訳してはならないと命じられた。サタンがそれらの人々の心に、主なる彼らの神を試みさせようとする思いを入れたからである。言葉を書き換えることによって、それはわたしが翻訳して書き取らせたものとは反対の意味になっていたのである。もしわたしが再び同じ言葉を訳出すれば、言い換えれば、もしわたしが同じものをもう一度翻訳すれば、彼らは自分たちが盗んだものを出版し、サタンはこの時代の人々がこの業を受け入れないように彼らの心をそそのかすであろう。しかし見よ、主はわたしに次のように言われた。『わたしはサタンがこのことについて悪計を遂げるのを許さない。それゆえ、あなたはあなたが翻訳して所持している部分に至るまで、ニーファイの版から翻訳しなければならない。そして見よ、あなたはこれをニーファイの記録として出版しなければならない。このようにして、わたしは、わたしの言葉を書き変えた者たちを辱めよう。わたしは彼らがわたしの業を損なうのを許さない。まことに、わたしの知恵が悪魔こうかつの狡猾さに勝っていることを彼らに示そう。』〔教義と聖約 10：38-43参照〕

したがって、神の命令に従い、わたしは主の恵みと憐れみによって、この件に関して主がわたしに命じられたことを成し遂げたのである。』⁸

モルモン書は神の言葉である

「わたしは兄弟たちに言った。モルモン書はこの世で最も正確な書物であり、わたしたちの宗教のかなめ石である。そして、人はその教えを守ることにより、ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる。」⁹

信仰箇条1：8「わたしたちは、正確に翻訳されているかぎり、聖書は神の言葉であると信じる。また、モルモン書も神の言葉であると信じる。」¹⁰

「〔モルモン書は〕わたしたちに、救い主が復活後にこのアメリカ大陸に御自身を現されたこと、またこの地に完全な福音を、そのあらゆる豊かさや力と祝福とともに確立されたことを告げています。また、この地に使徒、預言者、牧者、教師、祝福師がいて、東の大陸の民が享受していたのと同じ秩序、同じ神権、同じ儀式、賜物、力、祝福をこの地の民が得ていたこと、そして民が自分たちの背きのゆえに絶たれたことを告げています。さらに、民の中にいた預言者たちの最後の一人が、彼らの預言や歴史などを短くまとめたものを書き記して地中に隠すように命じられたこと、そして神の目的を成し遂げるために、それが終わりの時に出て来て聖書と一つになることを告げています。」¹¹

デビッド・オズボーンは、1837年にミズーリ州ファーウェストでジョセフ・スミスが教えを説いたときにその場にいた。デビッドは預言者が次のように語ったのを回想している。「モルモン書は真実であり、まさにそれが主張しているとおりのものです。この証^{あかし}に対して、わたしは裁きの日に報告をすることになると思います。」¹²

聖文はわたしたちを元気づけ、慰め、救いに至る知恵をわたしたちに与えてくれる

「王国を築き上げることに関連しているのが、モルモン書、教義と聖約、……および新たに翻訳された〔聖書〕を出版して広めることです。これらの業に関しては、何も言う必要がありません。それらを読み、そこから流れてくる知識の水を飲む人は、それらの書物の価値をどのように評価すべきかを知ります。愚かな者はそれらをあざけるかもしれませんが。しかしそれらの書物は救いに至る知恵を人に与えるために用意されています。長い間存在してきた迷信による混乱を一掃し、すでに成し遂げられているエホバの行いを明らかにし、未来のあらゆる



末日の聖典が出版されているのは、「心の正直な人々が元気づけられ、慰めを受け、喜びながら自分の道を進めるようにするためです。」

る恐るべき現実と栄えある現実を述べるために用意されています。これらの書物を研究することによって得られる益を味わった人々は、アダムの子らすべての子らが同じ特権を享受し、同じ真理を喜ぶことができるように、熱意をもって、また互いに競い合って、それらを世界中に届けるに違いのないのです。』¹³

「[末日の聖典が出版されているのは]、心の正直な人々が元気づけられ、慰めを受け、喜びながら自分の道を進めるようにするためです。なぜなら彼らは、かつて先祖が行った神の業と、先祖の言葉を成就するために末日に神が行おうとしておられる事柄についての知識を得、理解に光が注がれるからです。』¹⁴

「わたしたちは神聖な書き物を手にしており、それらが人のために直接の靈感によって与えられたものであることを認めています。わたしたちは神が御自身を低くして、天から語り、人類家族に関する御心こころを宣言しておられること、また、人々に公正で神聖な律法を授け、

人々の行いを律し、人々をまっすぐな道に導いておられることを信じています。御自分がふさわしいと思われるときに人々を御自分のもとに迎えて、御子と共同の相続人とされるためです。

しかし、聖文には天の直接の御心が記されているという事実を認めるとき、わたしたちは理性のある人間として、そのすべての訓戒に従って生活する義務を負ってはいないでしょうか。これが天の御心であると単に認めるだけで、そのすべての教えに従わないならば、それはわたしたちの役に立つでしょうか。その教えが真実であると認めながらそれに従わないとすれば、天の至高全権の英知である御方に反抗していることにならないでしょうか。そのような行為によって、わたしたちは自分自身の知識から、天から授けられた優れた知識から、転落してはいないでしょうか。そういうわけで、もしわたしたちに天から直接啓示が与えられたのであれば、(確かに、その啓示は、決していいかげんにあしらうために与えられたものではありません)そのような啓示をいいかげんにあしらう者は、間違いなく自らの頭^{こうべ}に怒りと罰を招くことになります。もし天に公正があるなら、必ずそうなります。そして天に公正があることは、神聖な書物に載っている神の教えの真実性と力、神の祝福とのろいを認める人であれば、だれもが当然認めるはずです。……

……天に刻まれている全能者の力に気づく人は、神聖な書物の中に神御自身の筆跡を見ることができます。そしてそれを頻繁に読む人はそれが何よりも好きになり、それに通じる人は、神の手を見ることのできるあらゆる場所でそれに気づくでしょう。そして一度神の手を見いだしたならば、それを認めるだけでなく、神の手になるあらゆる天の訓戒に従うでしょう。]¹⁵

「おお、十二使徒の皆さん、またすべての聖徒の皆さん、この大切な鍵^{かぎ}を役立ててください。皆さんが受けるすべての試練、困難、誘惑、苦難、束縛、投獄、および死に際して、天を裏切ることのないように、イエス・キリストを裏切ることのないように、兄弟たちを裏切ることのないように、そして聖書やモルモン書、教義と聖約に記されている神の啓示や、この世においてかつて人に与えられ、明らかにされた、または来るべき世^{きた}において与えられ、明らかにされる、神の啓示を裏切ることのないようにしてください。]¹⁶

研究とレッスンのための提案

この章を研究する際、またはレッスンの準備をする際に、以下の質問について深く考える。そのほかの提案については、vii-xiiページを参照する。

- ジョセフ・スミスが1823年9月21日から1827年9月22日までの間に経験した事柄について読んでください（57-59ページ）。これらの経験によって、ジョセフは金版を翻訳するうえでどのように備えられたと思いますか。これまであなたは主からの召しにどのように備えられてきましたか。
- 62ページの最初の段落を、モルモン書の目的に注目しながら読んでください。これらの目的は、あなたの人生やほかの人々の人生でどのように成就してきたでしょうか。
- 預言者は紛失した116ページの原稿を再度翻訳しないように命じられました（62-63ページ）。この話について深く考えるとき、神についてどのようなことが学べますか。この話を理解することは、わたしたちが下す決断にどのような影響を及ぼすでしょうか。
- 64ページの最初の段落を読んでください。かなめ石は、石でアーチを造る際に頂点に置かれ、ほかのすべての石を固定します。モルモン書はどのような点で「わたしたちの宗教のかなめ石」でしょうか。モルモン書はあなたが「神に近づく」のをどのように助けてきたでしょうか。
- ジョセフ・スミスは、わたしたちが聖文から「流れてくる知識の水を飲〔み〕」、神の言葉の「益を味わ〔う〕」ときにもたらされる祝福について語っています（64-65ページ）。これらの表現は聖文研究についてどのようなことを示唆しているのでしょうか。聖文研究をより有意義なものとするためにどのようなことができるのでしょうか。
- 64ページの下から始まる段落を読んでください。聖文を研究する人々が、それをほかの人々と分かち合いたいという熱意を抱くようになるのはなぜだと思いますか。モルモン書を分かち合うためにどのようなことができるのでしょうか。これまでモルモン書を分かち合ったとき、あるいはだれかに分かち合ってもらったとき、どのような経験をしましたか。
- 65ページの第1段落を読んでください。モルモン書の中でこれまであなたを「元気づけ」「慰めを〔与えて〕」くれた聖句にどのような

ものがありますか。モルモン書はどのようにしてあなたの理解に光を注いできたでしょうか。

関連聖句——エゼキエル37：15－17；モルモン書の序文；1ニーファイ13：31－42；2ニーファイ27：6－26；教義と聖約20：6－15；ジョセフ・スミス—歴史1：29－54

注

1. ジョセフ・スミス, *History 1832*, 4参照。Letter Book 1, 1829-1835年, Joseph Smith, Collection参照, 教会記録保管課, 末日聖徒イエス・キリスト教会, ユタ州ソルトレーク・シティー
2. *History of the Church*, 第4巻, 537。イリノイ州ノーブーで, ジョセフ・スミスがジョン・ウエントワースとジョージ・バーストウの要請で書いた手紙から。 *Times and Seasons*, 1842年3月1日付, 707に掲載
3. *History of the Church*, 第3巻, 28。 *Elders' Journal*, 1838年7月, 42-43に掲載された論説から。ジョセフ・スミスは同誌の編集者であった
4. *History of the Church*, 第4巻, 537。原文(英語)においては, 句読点は現代の用法に修正, 段落は変更。イリノイ州ノーブーで, ジョセフ・スミスがジョン・ウエントワースとジョージ・バーストウの要請で書いた手紙から。 *Times and Seasons*, 1842年3月1日付, 707に掲載
5. *History of the Church*, 第6巻, 74。1843年11月13日, イリノイ州ノーブーでジョセフ・スミスがジェームズ・アーリントン・ベネットにあてて書いた手紙から。 *History of the Church*ではジェームズ・ベネットの姓 [Bennet] が "Bennett" と誤ってつづられている
6. *History of the Church*, 第1巻, 71-72。原文(英語)においては, 角括弧の部分は当時の表記のまま。"History of the Church" (原稿), book A-1, 34-35から。教会記録保管課
7. *History of the Church*, 第1巻, 21。原文(英語)においては, 句読点は現代の用法に修正, 段落は変更。"History of the Church" (原稿), book A-1, 9-10から。教会記録保管課
8. モルモン書の初版(1830年版)のはしがき。原文(英語)の段落は変更
9. *History of the Church*, 第4巻, 461。1841年11月28日, イリノイ州ノーブーでジョセフ・スミスによって与えられた教えから。ウィルフォード・ウッドラフによる報告
10. 信仰箇条1：8
11. *History of the Church*, 第4巻, 538。原文(英語)においては, 句読点は現代の用法に修正。イリノイ州ノーブーで, ジョセフ・スミスがジョン・ウエントワースとジョージ・バーストウの要請で書いた手紙から。 *Times and Seasons*, 1842年3月1日付, 707-708に掲載
12. デビッド・オズボーンによる引用。"Recollections of the Prophet Joseph Smith," *Juvenile Instructor*, 1892年3月15日付, 173
13. *History of the Church*, 第4巻, 187。1840年9月, イリノイ州ノーブーでジョセフ・スミスと大管長会の顧問たちが聖徒たちにあてて書いた手紙から。 *Times and Seasons*, 1840年10月号, 179に掲載
14. 1842年3月ごろ, イリノイ州ノーブーでジョセフ・スミスが *Times and Seasons* にあてて書いた手紙から。Miscellany, Joseph Smith, Collection, 教会記録保管課。手紙は送付されなかったと思われる
15. *History of the Church*, 第2巻, 11, 14。原文(英語)においては, 句読点は現代の用法に修正, 段落は変更。"The Elders of the Church in Kirtland, to Their Brethren Abroad" (1834年1月22日付)から。 *Evening and Morning Star*, 1834年2月号, 136および1834年3月号, 142に掲載
16. *History of the Church*, 第3巻, 385。1839年7月2日, アイオワ州モンテローズでジョセフ・スミスが行った説教から。ウィルフォード・ウッドラフとウィラード・リチャーズによる報告。リチャーズ長老によるこの説教の記録は, ほかの人人々による同説教の記録に基づくものであった。リチャーズ長老は預言者が1839年6月27日に行った説教と, 「1839年7月ごろ」という日付で残されているもう二つの説教を記録した際にも, ほかの人の記録を用いている。これらの説教は本書の全体を通じて引用されている